

新体操女子 2023 年度 道内大会適用規則

【シニア個人】

1. 高体連全道 1 部、新体操大会高校一般 2 種目の部、国体予選、北海道選手権、北海道高体連新人戦 1 部
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則シニアルール及び全国高体連ルールを適用する。☆高体連一部・北海道選手権：ボール・クラブ

2. 高体連全道 2 部、新体操大会高校 1 種目の部、北海道高体連新人戦 2 部
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則及び北海道高体連 2 部ルールを適用する。

【ジュニア個人】

1. 新体操大会小・中 2 種目の部、全道ジュニア A B クラス、北海道選手権、全日本ジュニア予選、中体連
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則ジュニアルール及び中体連適用規則を適用する。
☆中体連：フープ・リボン / 北海道選手権・全日本 Jr 予選：フープ・リボン（決勝：ボール・クラブ）

2. 新体操大会小・中 1 種目の部、全道ジュニア C クラス
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則ジュニアルール及び中体連適用規則を適用し
一部道内大会適用規則の[特別ルール]を採用する。

【特別ルール】

- ① DB は形と手具操作が明確であれば ET-0.5 の大きな誤差があっても ET の減点を伴って有効とし
- ② R は投げの高さに若干の不足があっても有効とする。但し立位 1.5 倍を越すこと。
- ③ DA は高さにも回転にも許容はない。
- ④ ボールにおける片手受けは基礎手具操作の総数カウント時のみ、直立 1.5 倍の高さからの受けを有効とする。
- ⑤ 空中下における単独の DB の投げの高さに若干の不足があっても有効とする。但し立位 1.5 倍を越すこと。
- ⑥ W の数は最低 1 個とする。

【団体】

1. シニア団体（新体操大会、国体予選、北海道選手権、高体連）
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則シニアルール及び高校適用規則を適用する。
☆国体予選・高体連・北海道選手権・全道高体連新人戦：フープ 5

2. ジュニア団体（新体操大会、北海道選手権、全日本ジュニア予選、全道ジュニア、中体連）
2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則ジュニアルール及び中体連適用規則を適用する。
☆北海道選手権・全日本 Jr 予選・中体連：ボール 5 / 新体操大会・全道ジュニア：同手具 5

3. 徒手団体（新体操大会）

2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則ジュニアルール及び 2023 年度版新体操大会徒手団体ジュニアルールを適用する。

【使用手具について】

全国に繋がる全道大会・予選会については 2022-2024 年版（公財）日本体操協会競技規則・採点規則ルールを適用し、FIG 認定マークとメーカーロゴの確認できる手具を使用すること。

※中体連・高体連についてはその規則に準ずること。

※必要に応じて手具点検を行う。

それ以外の大会については、FIG 認定マークの有無にかかわらず以下の使用を認める。

（シニア）

☆高校二部に該当するシニア選手・・・リボンは 5m 以上

（ジュニア）

☆小学 5 年生まで・・・リボンは 4 m 以上、ミドルボール可能、フープは 60cm 以上
クラブはジュニア用 36 cm 可能

(団体)

☆メンバーに学年に達していない選手が一人でもいれば個人と同様規格の手具の使用を認める。ジュニア手具・シニア手具のどちらでも良い。

【予備手具について】

予備手具は大会主催団体が用意する。又、新体操大会・国体予選・北海道選手権・全道ジュニアについては必要に応じて以下のように配置する。

審判席		
ササキ製		チャコット製
フープ 81 (白・丸形) ボール (白) クラブ (白) ★リボン 6m (白) ●リボン 5m (ピンク) ●ロープ (ピンク)	競技フロア	フープ 85 (白・丸形) ボール (白) クラブ (白/コーラル) ★リボン 6m (白) ●フープ 75 (白・内側テープ) ●リボン 5m (ピンク) ●ロープ (ピンク) ▲ショートクラブ (ピンクイエロー) ▲ミドルボール 17 (ピンク)

※★シニア専用 ●ジュニア専用 ▲小学5年生まで使用可能 (誤って使った場合の減点はしない)

【審判編成】

審判団編成は以下のようにする。

☆全国大会の予選大会 (国体予選・北海道選手権兼全日本 Jr 予選・高体連新人戦) : DB2/DA2/EA4/ET4

☆その他の全道大会 (新体操大会・全道ジュニア) : DB2/DA2/EA2/ET2

☆徒手団体 : D2/ EA2/ET2

【その他】

- ・全道ジュニア大会については、化粧と髪飾りの使用についてルール通りとする。それ以外の大会については高体連と中体連ルールに準ずる。
- ・レオタードの変更は 2022 年-2023 年を移行期間とし、旧ルールのレオタード着用を認めるが、ルール変更の趣旨はあくまでも選手を守ることにあることから、あまりにもルールから逸脱したレオタードの着用は控えること。
- ・上記ルールの修正および変更又は日本体操協会による追加・変更がある場合は随時採用を検討し連絡する。
- ・2022 年度に日本体操連盟ホームページ上で配布された資料・マークアップは、2023 年度より全ての大会で採用とする。